

2026年3月期 第3四半期

Fly to the next stage!

決算説明資料

ヤマシンフィルタ株式会社
2026年2月13日



| エグゼクティブサマリー

- ◆ 第3四半期は創業以来最高の売上高、四半期純利益を更新
- ◆ 通期においても、創業以来最高の連結業績を更新見通し
- ◆ エクイティストーリー「YAMASHIN FILTER VISION 2030」の実現に向け、新規事業立ち上げに伴う先行投資を実施



| 2026年3月期 第3 四半期実績

2026年3月期第3四半期実績（2025/10-12）

PLセグメント別（連結、建機、エア）

- ◆ 建機用フィルタ事業における堅調な新車需要により、四半期純利益は増益
- ◆ 新規事業立ち上げに伴う先行投資およびエアフィルタ事業の業績低調により営業利益は減益

		2025/3期 Q3 実績	2026/3期 Q3 実績	前年同期比	
		金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
売上高		5,036	5,313	276	5.5%
	建機用フィルタ※	4,363	4,704	340	7.8%
	エアフィルタ	672	608	△64	△9.6%
営業利益（セグメント利益）		674	609	△65	△9.6%
	建機用フィルタ※	645	621	△24	△3.8%
	エアフィルタ	28	△11	△40	—
営業利益率		13.4%	11.5%	△1.9Pt	
経常利益		662	592	△70	△10.6%
経常利益率		13.2%	11.2%	△2.0Pt	
四半期純利益		359	411	51	14.4%
四半期純利益率		7.1%	7.7%	0.6Pt	
為替レート（円） （期中平均値）	USD	152.6	148.8	△3.8	△2.5%
	EUR	164.8	171.8	7.0	4.3%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

2026年3月期第3四半期実績（2025/10-12）

売上高（製品別）

◆ 新車需要は堅調に推移し、ライン品の売上高が大きく伸長、補給品需要は堅調維持

■ 製品別売上高

		2025/3期 Q3 実績	2026/3期 Q3 実績	前年同期比	
		金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ		4,002	4,368	365	9.1%
	ライン品	1,409	1,698	288	20.5%
	補給品	2,593	2,670	76	3.0%
産業用フィルタ		187	183	△3	△1.8%
プロセス用フィルタ		173	152	△21	△12.4%
建機用フィルタ 合計		4,363	4,704	340	7.8%
エアフィルタ		672	608	△64	△9.6%
売上高合計		5,036	5,313	276	5.5%

2026年3月期第3四半期実績（2025/10-12） 売上高（地域別）

◆ 東南アジア地域での一時的な需要減退がみられるも、新車需要堅調により全体では増収

■ 地域別売上高

		2025/3期 Q3 実績		2026/3期 Q3 実績		前年同期比	
		金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※		4,363	86.6%	4,704	88.5%	340	7.8%
	国内	1,659	32.9%	1,798	33.8%	138	8.3%
	北米・南米	1,163	23.1%	1,283	24.2%	120	10.4%
	中国	323	6.4%	432	8.1%	109	34.0%
	アジア	761	15.1%	704	13.3%	△56	△7.5%
	欧州	456	9.1%	466	8.8%	10	2.2%
	その他（中東他）	—	—	18	0.3%	18	—
エアフィルタ（国内）		672	13.4%	608	11.5%	△64	△9.6%
売上高合計		5,036	100.0%	5,313	100.0%	276	5.5%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

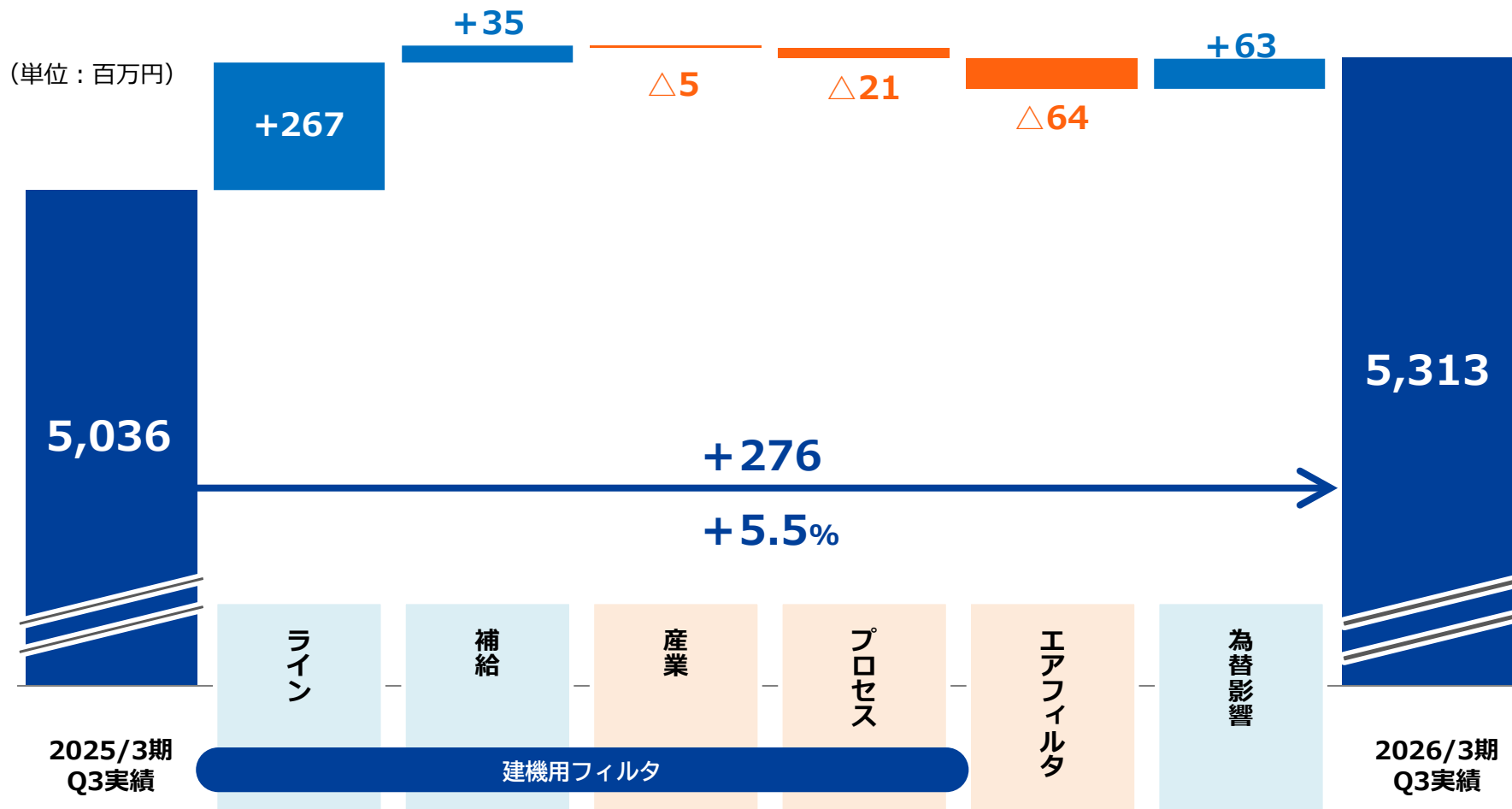
* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

* 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

2026年3月期第3四半期実績（2025/10-12）

売上高増減グラフ（前年同期比）

- ◆ 建機用フィルタ事業における新車需要は堅調に推移し、大幅な増収
- ◆ エアフィルタ事業については、基幹システム入れ替えに伴う混乱は収束し、顧客の信頼は回復も、第3四半期の受注、売上高は低調に推移

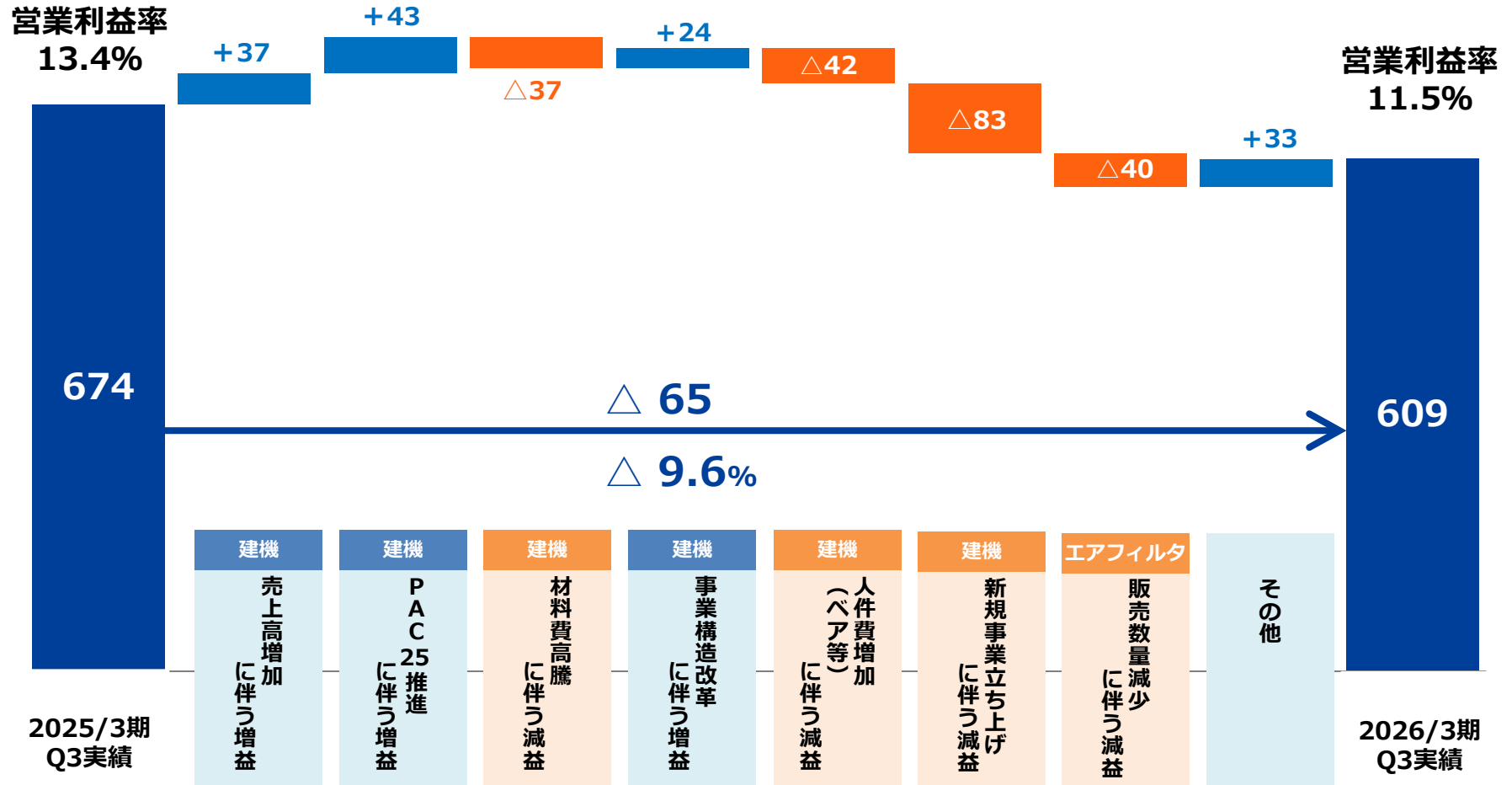


2026年3月期第3四半期実績（2025/10-12）

営業利益増減グラフ（前年同期比）

- ◆ 主力事業である建機用フィルタ事業の業績は着実に改善も、新規事業立ち上げに伴う先行投資およびエアフィルタ事業の業績低調により減益

（単位：百万円）



* 2026年3月期第2四半期より、海上運賃の増減については売上高の増加に伴う増益に含めて表示しております。

2026年3月期第3四半期累計業績 (2025年4月-12月)

2026年3月期第3四半期累計実績（2025/4-12）

PLセグメント別（連結、建機、エア）

- ◆ 第3四半期累計では創業以来最高の売上高、四半期純利益を更新
- ◆ 新規事業立ち上げに伴う先行投資、エアフィルタ事業の業績低調により営業利益は減益

		2025/3期 Q3累計 実績	2026/3期 Q3累計 実績	前年同期比	
		金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
売上高		14,945	15,602	657	4.4%
	建機用フィルタ※	13,032	13,908	875	6.7%
	エアフィルタ	1,912	1,694	△218	△11.4%
営業利益（セグメント利益）		2,051	1,981	△69	△3.4%
	建機用フィルタ※	2,001	2,094	92	4.6%
	エアフィルタ	49	△112	△161	—
営業利益率		13.7%	12.7%	△1.0Pt	
経常利益		2,098	1,942	△155	△7.4%
経常利益率		14.0%	12.5%	△1.6Pt	
四半期純利益		1,229	1,320	91	7.4%
四半期純利益率		8.2%	8.5%	0.2Pt	
為替レート（円） （期中平均値）	USD	152.6	148.8	△3.8	△2.5%
	EUR	164.8	171.8	7.0	4.3%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

売上高（製品別）

- ◆ 新車需要堅調によりライン品の売上高が大きく伸長、補給品需要は引き続き底堅く前年売上高を上回る

■ 製品別売上高

		2025/3期 Q3累計 実績	2026/3期 Q3累計 実績	前年同期比	
		金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ		11,953	12,831	877	7.3%
	ライン品	4,153	5,015	861	20.7%
	補給品	7,800	7,816	16	0.2%
産業用フィルタ		541	571	30	5.6%
プロセス用フィルタ		537	505	△32	△6.0%
建機用フィルタ 合計		13,032	13,908	875	6.7%
エアフィルタ		1,912	1,694	△218	△11.4%
売上高合計		14,945	15,602	657	4.4%

2026年3月期第3四半期累計実績（2025/4-12）

売上高（地域別）

- ◆ 堅調な新車需要により中国市場及びアジア市場が増収、国内市場も前年度を上回る
- ◆ 補給品需要は引き続き底堅く推移

■ 地域別売上高

		2025/3期 Q3累計 実績		2026/3期 Q3累計 実績		前年同期比	
		金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※		13,032	87.2%	13,908	89.1%	875	6.7%
	国内	5,217	34.9%	5,306	34.0%	89	1.7%
	北米・南米	3,322	22.2%	3,553	22.8%	230	6.9%
	中国	895	6.0%	1,279	8.2%	384	42.9%
	アジア	2,065	13.8%	2,297	14.7%	232	11.2%
	欧州	1,532	10.3%	1,395	8.9%	△136	△8.9%
	その他（中東他）	—	—	75	0.5%	75	—
エアフィルタ（国内）		1,912	12.8%	1,694	10.9%	△218	△11.4%
売上高合計		14,945	100.0%	15,602	100.0%	657	4.4%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

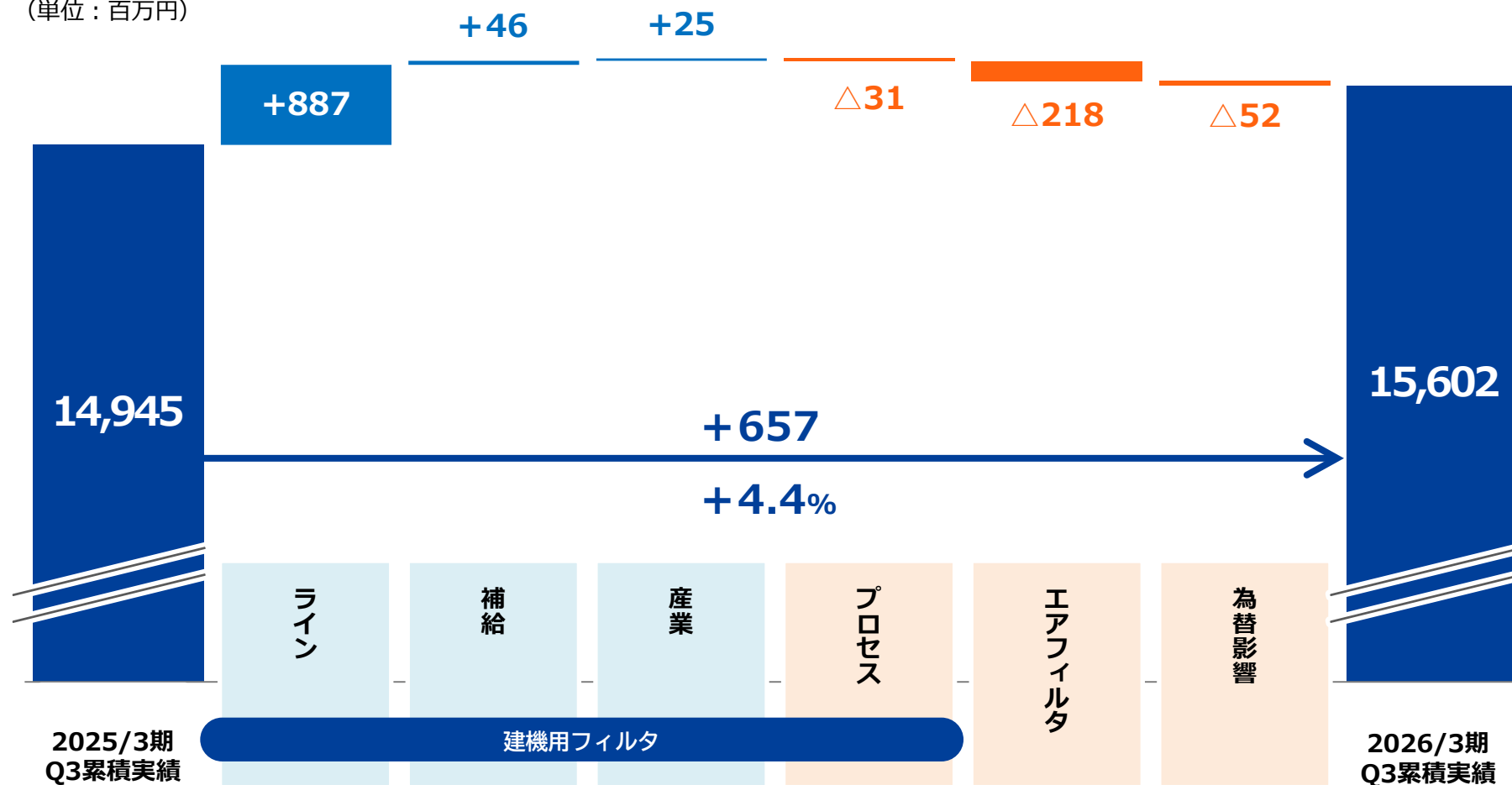
* 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

2026年3月期第3四半期累計実績（2025/4-12）

売上高増減グラフ（前年同期比）

- ◆ 建機用フィルタ事業における新車需要は堅調に推移し、大幅な増収
- ◆ エアフィルタ事業については、基幹システム入れ替えに伴う混乱は収束し、顧客の信頼は回復も、第3四半期の受注、売上高は低調に推移

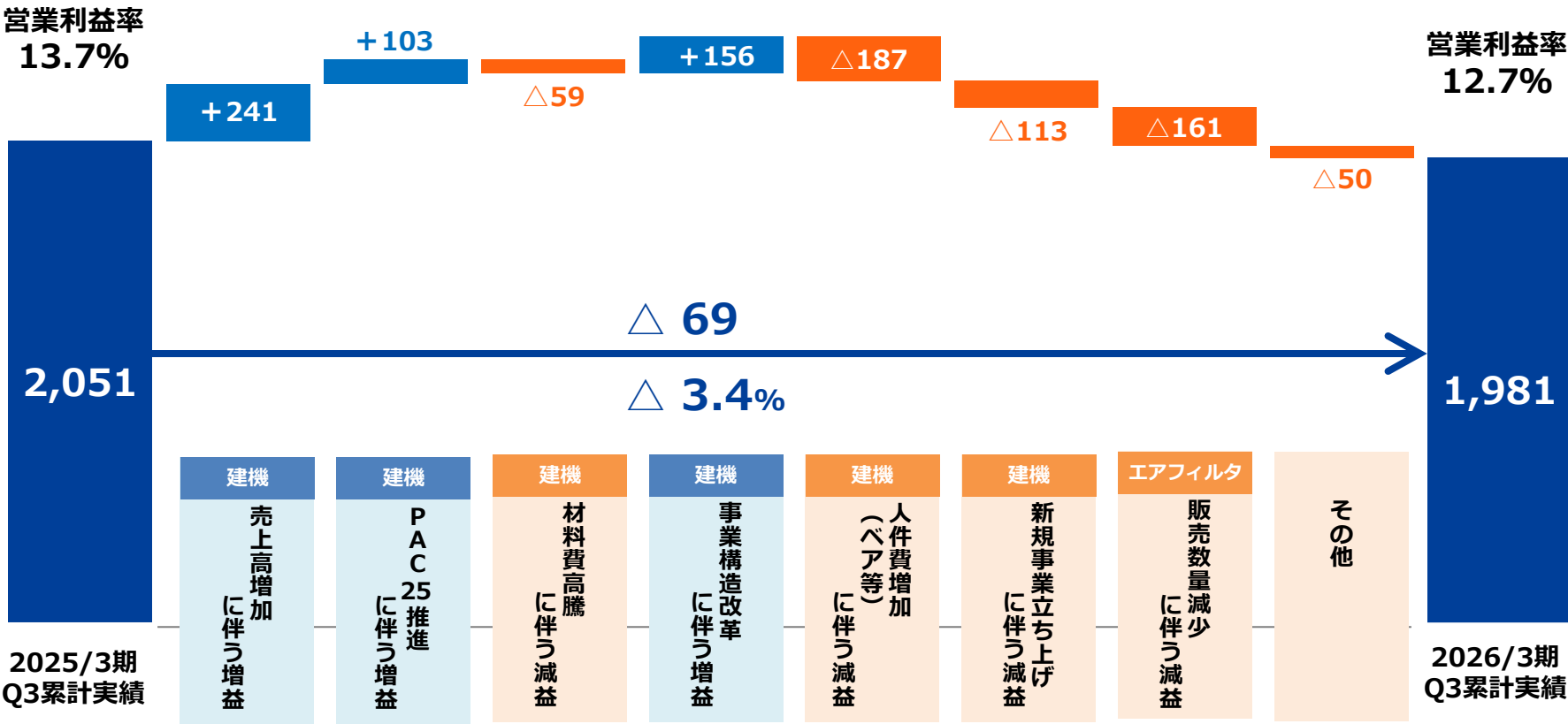
（単位：百万円）



2026年3月期第3四半期累計実績（2025/4-12）
営業利益増減グラフ（前年同期比）

- ◆ 主力事業である建機用フィルタ事業の業績は着実に改善も、新規事業立ち上げに伴う先行投資、エアフィルタ事業の業績低調により減益
- ◆ エアフィルタ事業における、基幹システム入れ替えに伴う混乱は収束、需要回復に向けた取り組みを強化

（単位：百万円）



* 2026年3月期第2四半期より、海上運賃の増減については売上高の増加に伴う増益に含めて表示しております。

| 2026年3月期通期業績見通し

2026年3月期見通し（2025/4-2026/3） PLセグメント別（連結、建機、エア）

- ◆ 中期経営計画は順調に進展、新規事業立ち上げに伴う先行投資・コスト増を見込むが、創業以来最高の連結業績を更新見通し

		2025/3期 実績	2026/3期 期初予算	2026/3期 修正予算	期初予算比
		金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）
売上高		20,104	20,420	20,840	420
	建機用フィルタ※	17,489	17,770	18,520	750
	エアフィルタ	2,615	2,650	2,320	△330
営業利益（セグメント利益）		2,630	2,720	2,870	150
	建機用フィルタ※	2,554	2,645	2,930	285
	エアフィルタ	75	75	△60	△135
営業利益率		13.1%	13.3%	13.8%	0.5Pt
経常利益		2,669	2,750	2,870	120
経常利益率		13.3%	13.5%	13.8%	0.3Pt
当期純利益		1,723	1,910	1,970	60
当期純利益率		8.6%	9.4%	9.5%	0.1Pt
為替レート（円） （期中平均値）	USD	152.6	145.0	145.0	—
	EUR	163.8	165.0	165.0	—

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

2026年3月期見通し（2025/4-2026/3） 売上高（製品別：期初予算比）

- ◆ 新車需要の回復、高付加価値製品の供給によるシェア拡大戦略により、ライン品、補給品ともに増収見通し

■ 製品別売上高

		2025/3期 実績		2026/3期 期初予算		2026/3期 修正予算		期初予算比	
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ		16,080	80.0%	16,386	80.2%	17,112	82.1%	725	4.4%
	ライン品	5,599	27.9%	5,981	29.3%	6,503	31.2%	522	8.7%
	補給品	10,481	52.1%	10,405	51.0%	10,608	50.9%	203	2.0%
産業用フィルタ		708	3.5%	672	3.3%	720	3.5%	48	7.2%
プロセス用フィルタ		699	3.5%	711	3.5%	687	3.3%	△23	△3.4%
建機用フィルタ 合計		17,489	87.0%	17,770	87.0%	18,520	88.9%	750	4.2%
エアフィルタ		2,615	13.0%	2,650	13.0%	2,320	11.1%	△330	△12.5%
売上高合計		20,104	100.0%	20,420	100.0%	20,840	100.0%	420	2.1%

2026年3月期見通し（2025/4-2026/3） 売上高（地域別：期初予算比）

◆ 堅調な新車需要により中国市場及びアジア市場が増収、国内市場も前年度を上回る

■ 地域別売上高

		2025/3期 実績		2026/3期 期初予算		2026/3期 修正予算		期初予算比	
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ※		17,489	87.0%	17,770	87.0%	18,520	88.9%	750	4.2%
	国内	6,900	34.3%	6,816	33.4%	7,138	34.3%	322	4.7%
	北米・南米	4,597	22.9%	4,918	24.1%	4,882	23.4%	△36	△0.7%
	中国	1,246	6.2%	1,354	6.6%	1,551	7.4%	197	14.6%
	アジア	2,670	13.3%	2,698	13.2%	2,922	14.0%	224	8.3%
	欧州	2,073	10.3%	1,891	9.3%	1,912	9.2%	20	1.1%
	その他（中東他）	—	—	90	0.4%	112	0.5%	21	24.2%
エアフィルタ（国内）		2,615	13.0%	2,650	13.0%	2,320	11.1%	△330	△12.5%
売上高合計		20,104	100.0%	20,420	100.0%	20,840	100.0%	420	2.1%

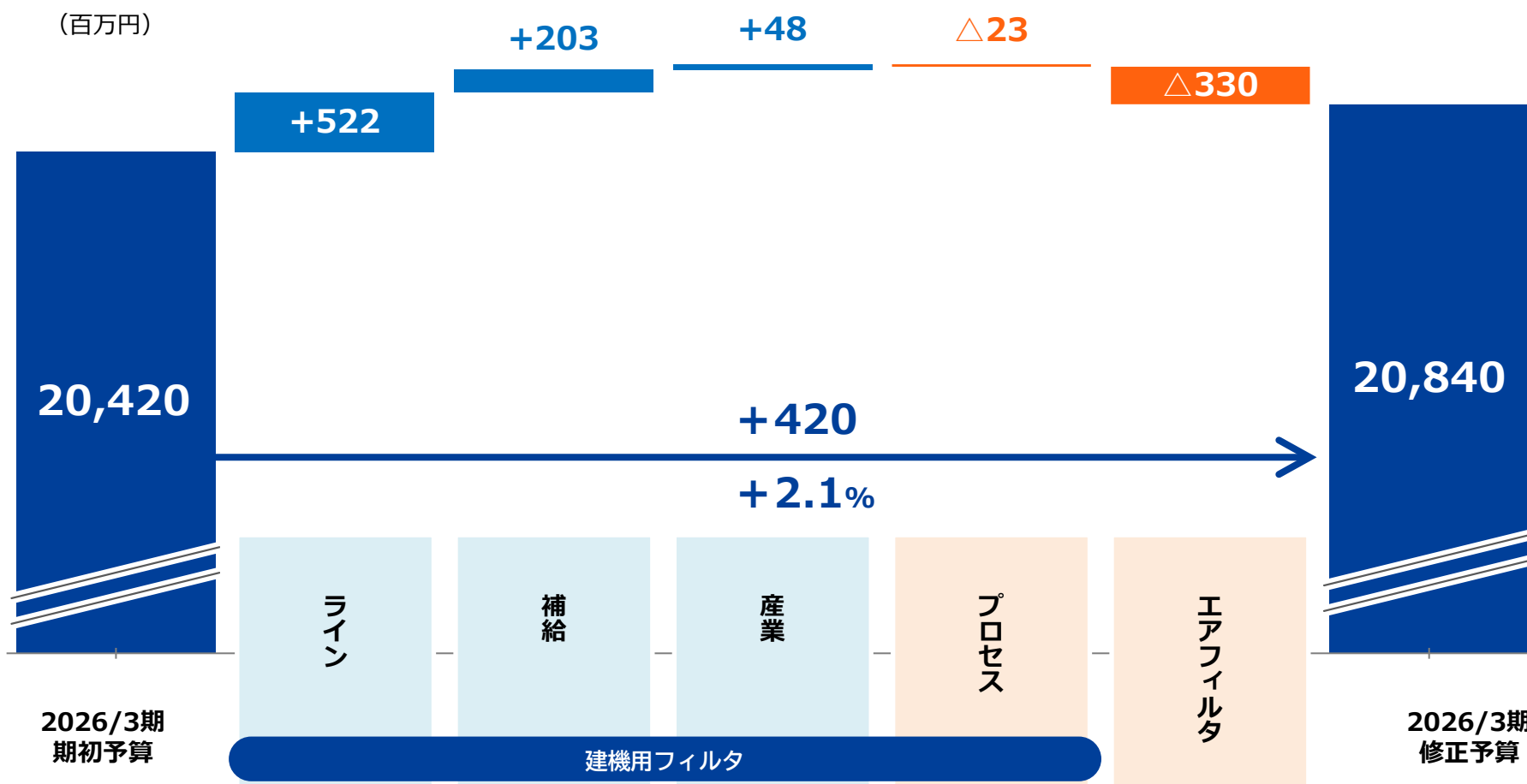
※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

* 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

売上高増減グラフ（期初予算比）

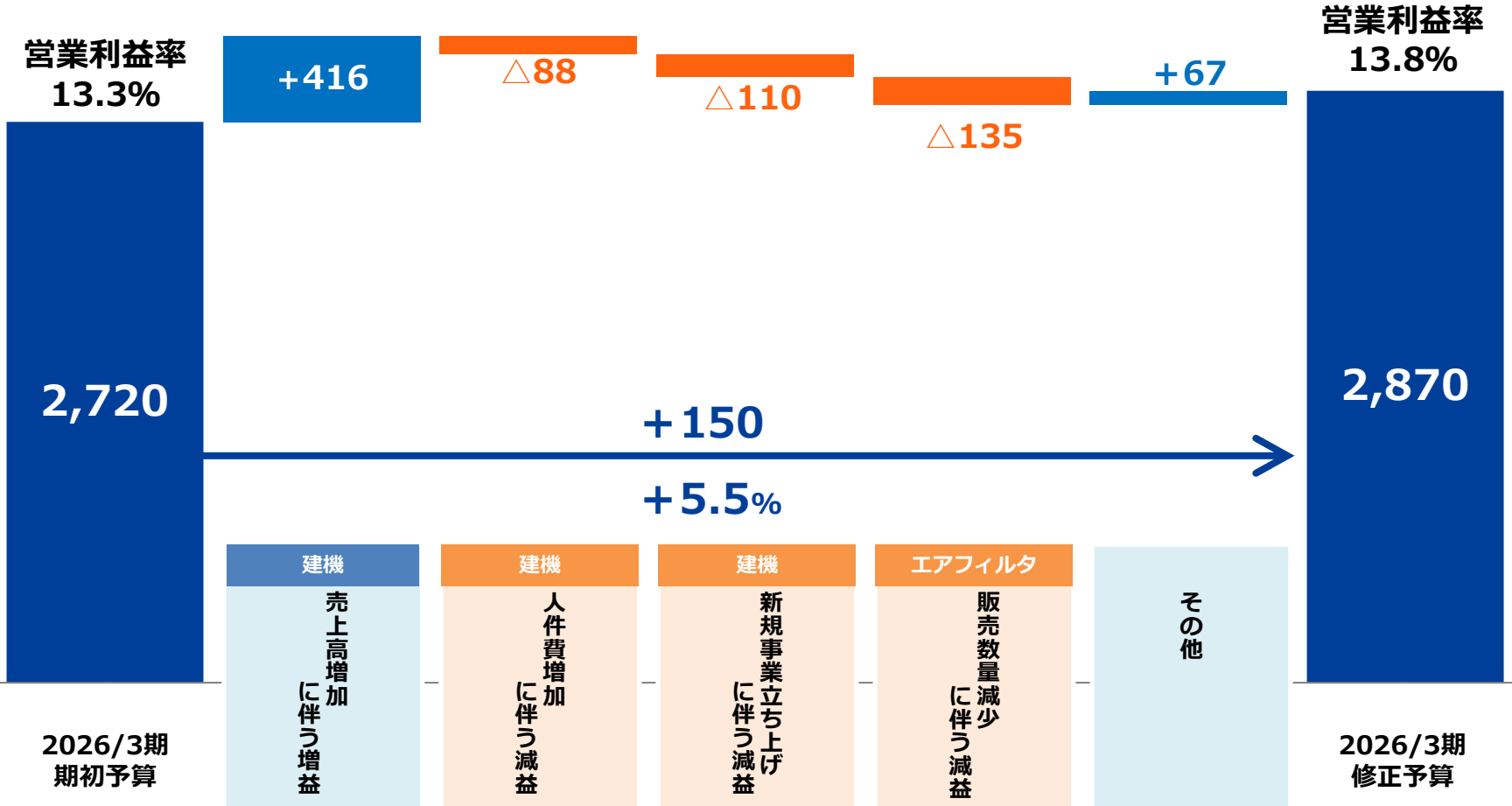
- ◆ 建機用フィルタ事業における新車需要回復や高付加価値製品の供給によるシェア拡大戦略により、ライン品は大幅増収、補給品売上も堅調に推移する見通し
- ◆ エアフィルタ事業においては、基幹システム入れ替えに伴う出荷遅延の影響は沈静化し、顧客の信頼は回復するも、受注、売上高の回復には時間を要する



2026年3月期見通し（2025/4-2026/3）
営業利益増減グラフ（期初予算比）

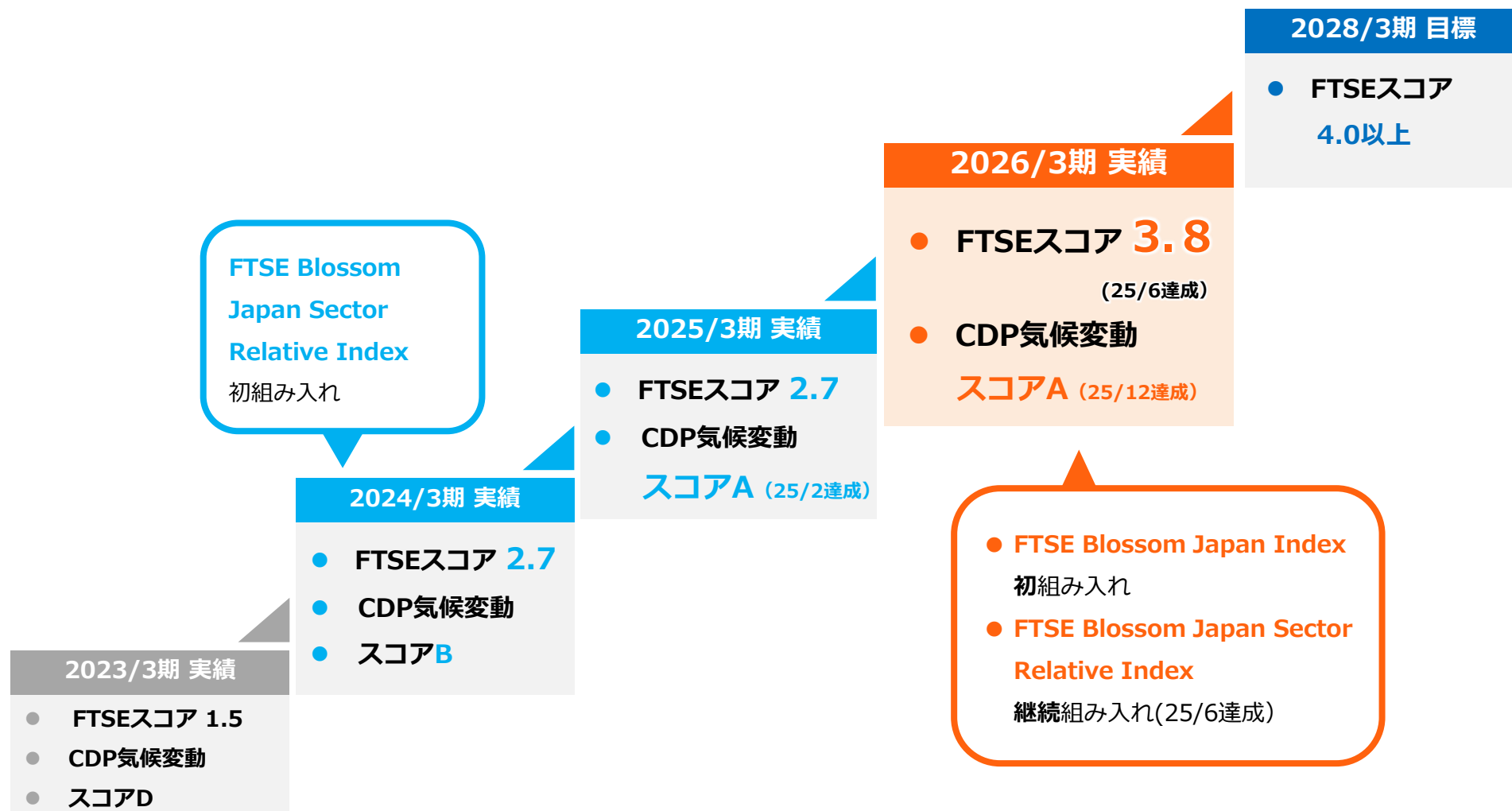
- ◆ 新規事業立ち上げに伴う先行投資・コスト増を見込むが、創業以来最高の連結業績を更新見通し

（百万円）



* 2026年3月期第2四半期より、海上運賃の増減については売上高の増加に伴う増益に含めて表示しております。

- ◆ CDP気候変動部門において、2年連続最高評価「Aリスト企業」認定を獲得



市場環境及び中期経営計画の進捗状況

- 地域ごとに濃淡あるも需要は堅調

- ◆ 全体の需要状況は、第2四半期と変わらず堅調が継続
- ◆ アジアは資源価格低迷から、マイニング関連の需要が減少傾向
- ◆ 欧州の底打ち回復と北米の堅調受注で、全体需要の均衡が保たれている構造

	2025年3月期	2026年3月期 3Q実績	2026年3月期見通し
日本	原材料価格は高止まり レンタル向け減少により前年比減	新車需要は想定より早く回復基調	先行き不透明感から需要は横ばい
北米	主要原材料価格は高止まり、円安継続 住宅着工件数減少により前年比減 アフターマーケットは好調	関税・為替の動向は不透明 新車需要は回復基調に転じ前年比増加	新車需要は並みを想定 アフターマーケットは堅調維持
欧州	主要国の需要減により前年比減少	主要国の需要減により アフターマーケットは 前年比減少	金融緩和等により 回復基調の見通し
アジア	インドネシア中心に建機、鉱山機械の 需要回復により前年比増 アフターマーケットは好調	インドネシアにおける 資源価格の低迷により アフターマーケットは前年比減少	インドネシアにおける 資源価格の低迷により アフターマーケットは減少の見通し
中国	需要低迷が継続	不動産市況は低迷するも 鉱山機械の新車需要の増加により 前年比増加	不動産市況は低迷が継続する見通し 鉱山機械の新車需要は堅調維持

建機用フィルタ市場の需要動向

- 受注は安定推移、需要は堅調を維持

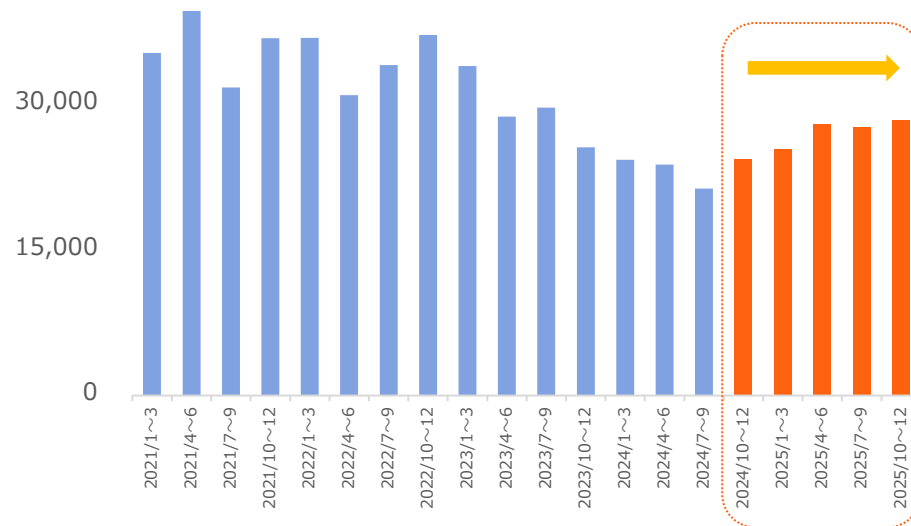
- ◆ 生産台数は25年以降、四半期ベースで高水準を維持
- ◆ 新車需要は地域で濃淡はあるが、北米市場を中心に需要堅調
- ◆ 新車販売不振の地域は、メンテナンス需要がカバーして底堅い受注が見込まれる

主要建機メーカー合計生産実績 (四半期推移)

新車生産は高水準を維持

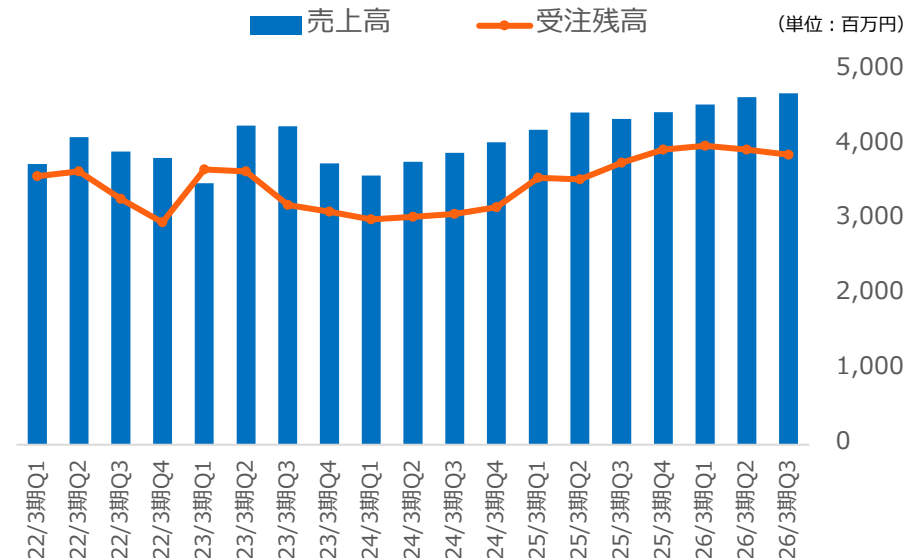
(単位：台)
45,000

※主要6社10%以上



建機用フィルタ売上高と確定受注残高 (四半期推移)

ライン需要が牽引役となって 受注残高は堅調を維持



- ◆ 油圧用フィルタなど得意な製品群を中心にモデルチェンジを確実に獲得
- ◆ 主力製品＆新規製品のシェア獲得戦略は順調に進捗

製品 顧客	※油圧用フィルタ	トランスミッション用 フィルタ	燃料用フィルタ	キャビン用 フィルタ	エンジンオイル用 フィルタ	エンジン用 エアフィルタ
A社	◎	△ 採用獲得	◎	◎	△	△
B社	○	◎	△	△	△	△
C社	○	△	△	△	△	△
D社	◎	-	△	△	△	△
E社	◎	△	△	△	△	△

◎：シェア80.0%以上、○：シェア50.0%以上80%未満、△：シェア50%未満
※油圧用フィルタは、油圧ショベル、ホイールローダー、ブルドーザー、ダンプトラック、モーターグレーダー、クローラクレーン等の機種に搭載
※2024年11月に発表した中期経営計画から、集計対象機種を見直したため、表内のシェア表示が変更になっております。

- ◆ 当社提案のロングライフ化が大きな潮流になり、切り替えに追い風
- ◆ 供給数量は新機種の量産スケジュールに影響されるが、計画は順調に推移
- ◆ 中期経営計画の目標値を数量面で大幅に上回る見通し

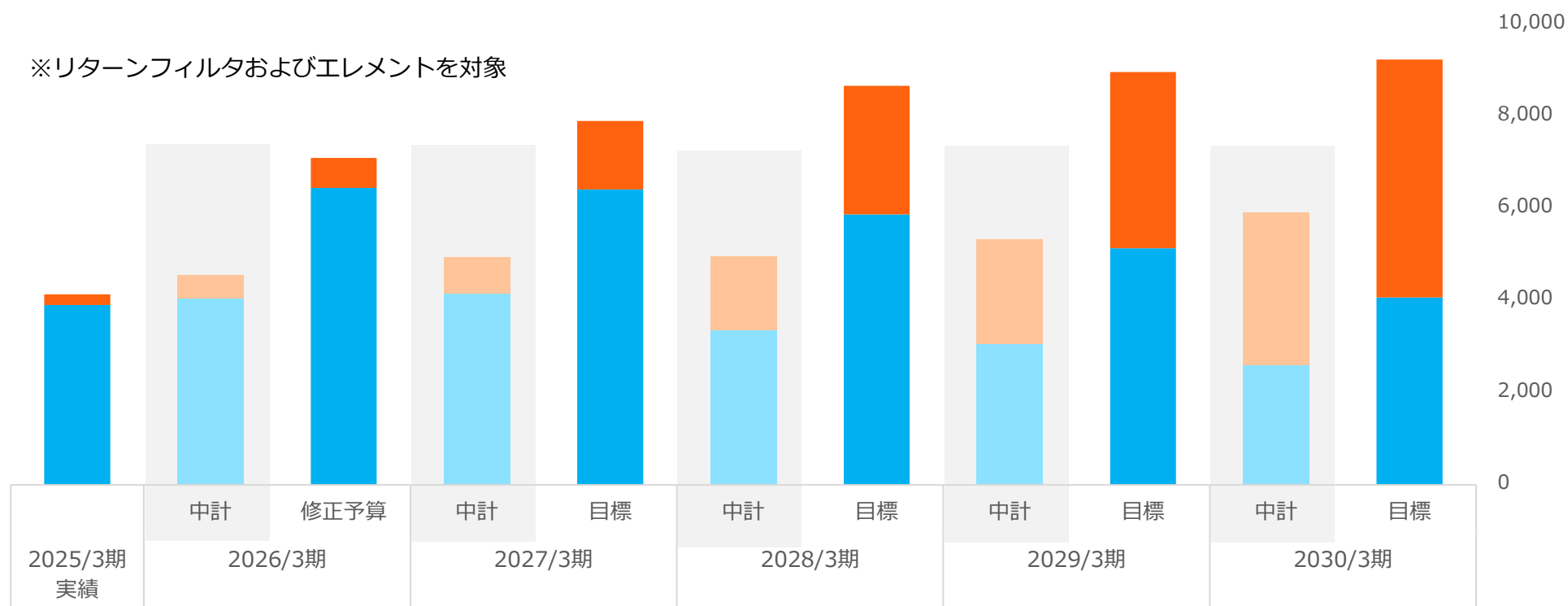
ナノファイバー製品の売上高見通し

■ ガラス/紙（既存ろ材）

■ YAMASHIN Nano Filter™（高付加価値製品）

（単位：百万円）

※リターンフィルタおよびエレメントを対象

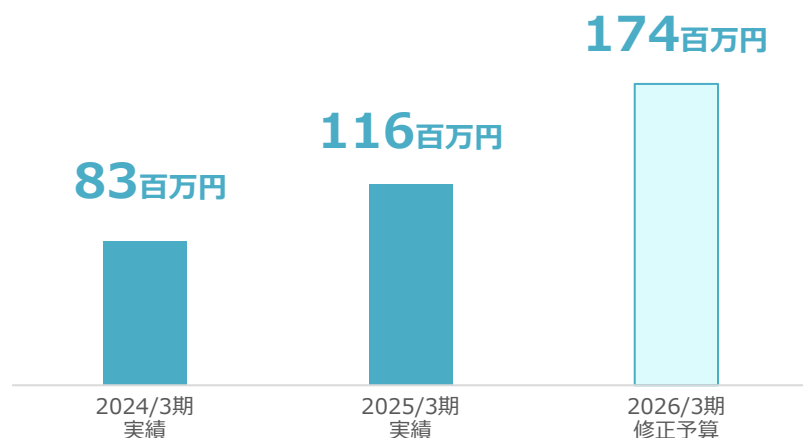


- ◆ ビル建物の獲得競争は変わらず厳しいが、需要の母集団は堅調を維持
- ◆ 出荷遅延の影響は沈静化するも、売上高の回復には時間を要する見通し

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	 フィルタのスポット案件増加傾向が顕著になり、厳しい獲得競争は継続。	 フィルタ需要は堅調を維持しているが、価格水準は2極化の様相。
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	 定期保守は維持されているが、周期の再検討など保守計画見直しの動き。	 米国関税の不透明感から、稼働率低下。保守計画にもマイナス影響。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	 前年並みの推移は見られる。上振れするかはまだ見通しは不透明。	 工場は増設傾向にあるため、需要は増加傾向にある。
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	 減少傾向。住宅メーカーによるコスト抑え込み要求は激化。	 戸建住宅の減少傾向が継続。短期的には材料高騰がマイナス要因。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	 交換需要は堅調を維持。リニア部品は動き出しているが大きな量産にはまだ辿り着いていない。	 交換需要は横ばいを維持。リニア備品は、開業が後倒しになった影響で、量産には至らず。

- ◆ 他社では対応不能だったニーズを持つ顧客の探索・商談は、順調に進捗中
- ◆ ティア1メーカーの知見を活かして、製品供給や共同開発がスタート

BtoB直販領域における実績と計画



- 採用実績のあるメーカーを中心に新規顧客開拓を展開。業界横断的な課題の解決を軸に、試作品供給というプロセスを確立。
- 試作品評価の段階に数社同時並行して進展しており、4Qから来期の量産開始を目標に進捗中。

有望分野に対するアプローチ

産業機器分野



空調機器メーカー

空調ユニットに搭載される標準フィルタに採用。工場や倉庫で設置される。

厨房機器メーカー

セントラルキッチンに使用されるような大型排気装置に搭載。

生産工程分野



製薬メーカー

製薬品質に関わる工程で空調コントロールするために採用。

製品メーカー

溶接ヒューム等の工程から排出される成分を除去するために製品を採用。

- ◆ 機能テキスタイル分野では、11月発表した「TEXIFIL™（テクシフィル）」を採用したゴルフベストが12月に完売
- ◆ ライフサイエンス、産業資材分野においても案件進行中

EVEN別注 Rosasen × TEXIFIL™ VEST

11月28日発売

TEXIFIL™中綿により
機動性・保温性・調湿性を実現。
ゴルフスイング時の動きやすさを損なわず、
冬のゴルフシーンを快適に。

TEXIFIL

– Texture Inspired by Filter –



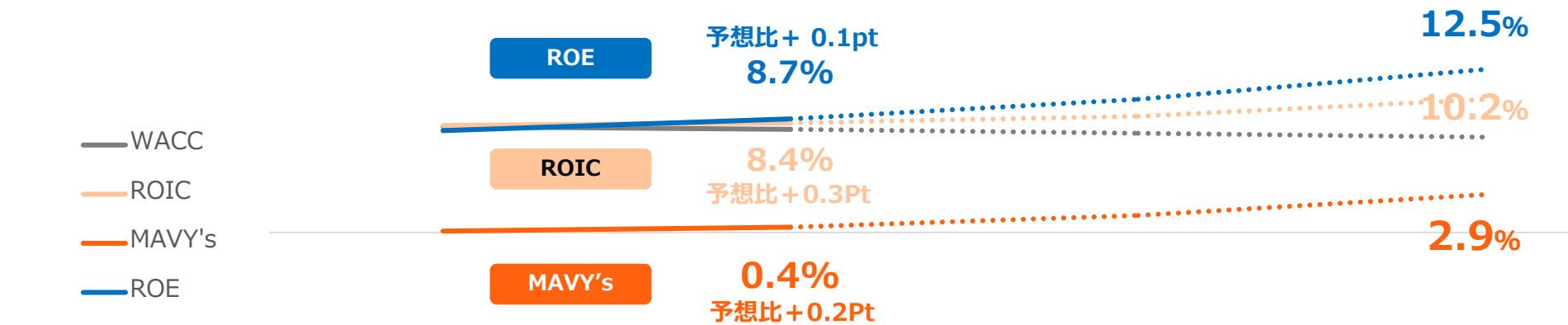
参考資料

–2026年3月期 第3四半期決算にかかる補足情報

2026年3月期見通し（2025/4-2026/3）

KPI進捗（MAVY's、ROIC、WACC、ROE）

- ◆ 企業価値を示すMAVY'をはじめとする経営指標の改善は着実に進展
- ◆ 2026年3月期は中期経営計画で掲げた目標値を上回り、創業以来最高の連結業績を更新見通し



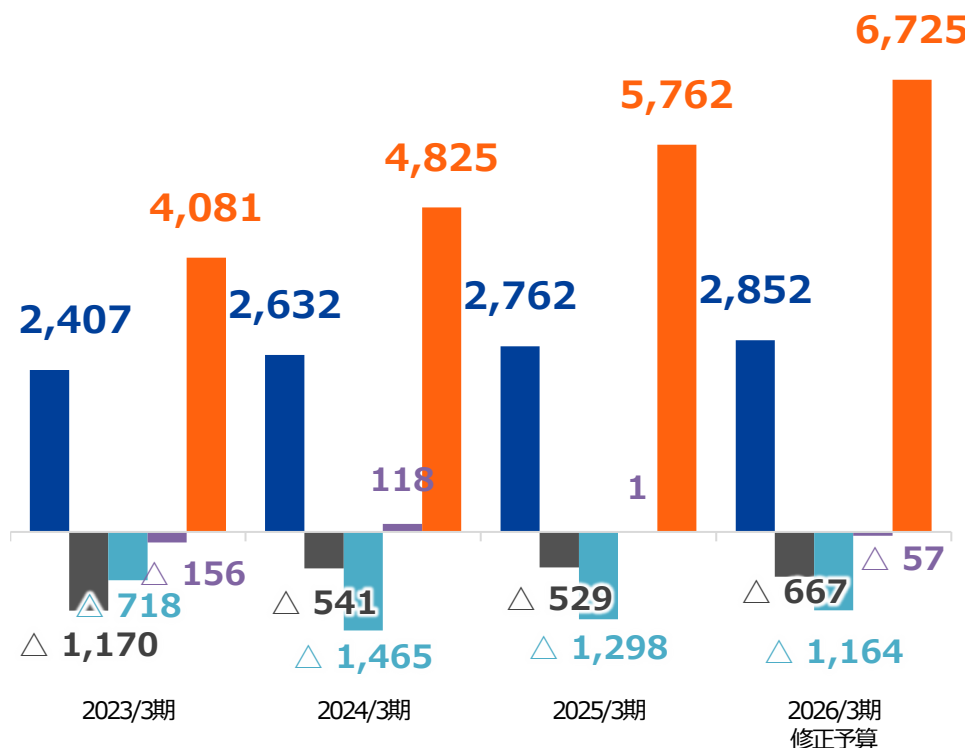
	2025/3月期	2026/3月期			2027/3月期	2028/3月期
	実績	中計計画値	修正予算	計画比	中計計画値	中計計画値
MAVY's	0.1%	0.2%	0.4%	+ 0.2Pt	1.3%	2.9%
ROIC	8.2%	8.1%	8.4%	+ 0.3Pt	8.9%	10.2%
WACC	8.1%	7.9%	7.9%	-	7.6%	7.3%
ROE	7.8%	8.6%	8.7%	+ 0.1Pt	10.2%	12.5%

- ◆ 連結業績改善により潤沢なキャッシュフローを維持
- ◆ サプライチェーンの最適化、在庫水準管理の徹底により資金効率は大幅に改善

■ キャッシュ・フロー

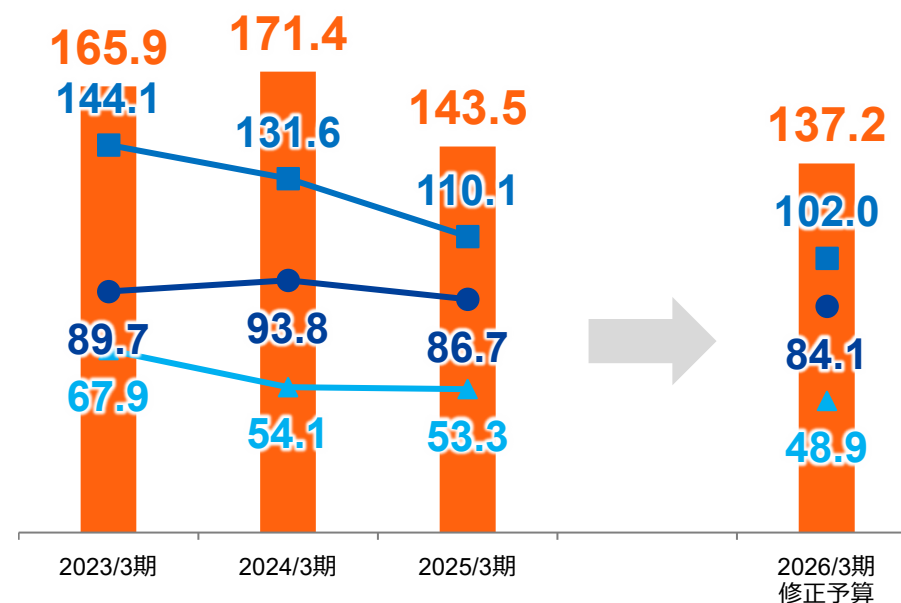
(単位：百万円)

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ■ 換算差額 ■ 現金期末残高



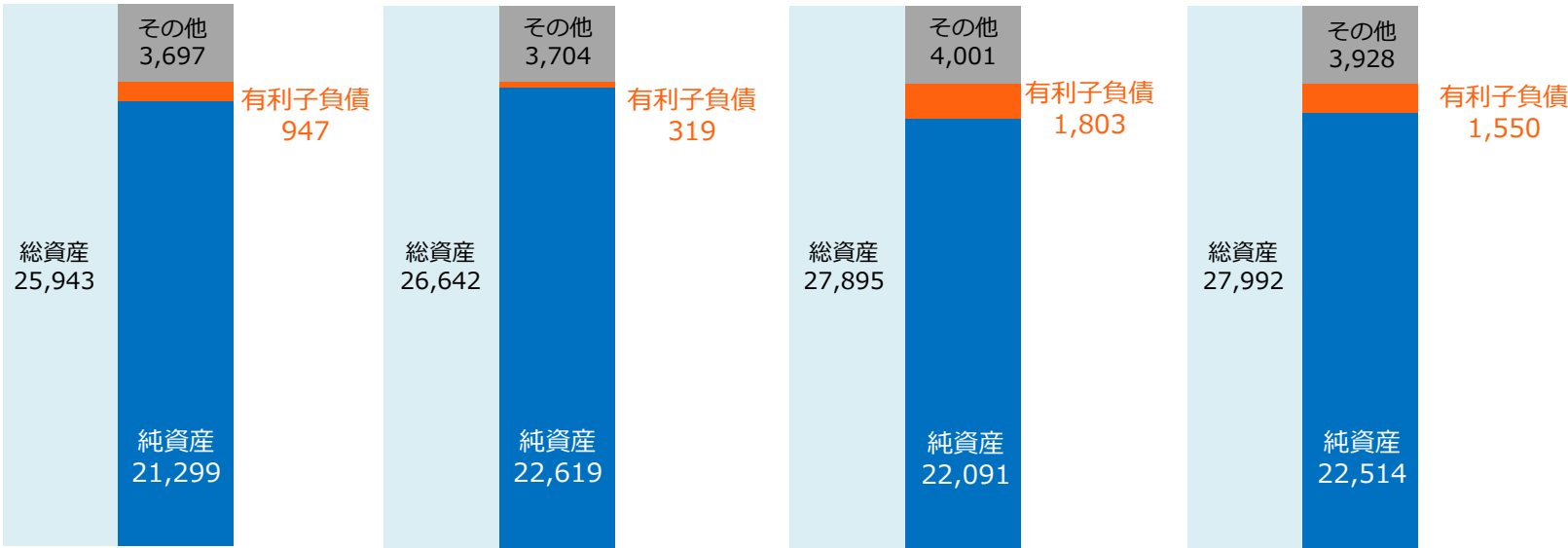
■ キャッシュ・コンバージョン・サイクル

■ CCC
● 売上債権回転日数
■ 棚卸資産回転日数
▲ 仕入債務回転日数



◆ 資本政策の見直し、財務レバレッジ効果により自己資本比率低減とWACCの低減を図る

(単位：百万円)



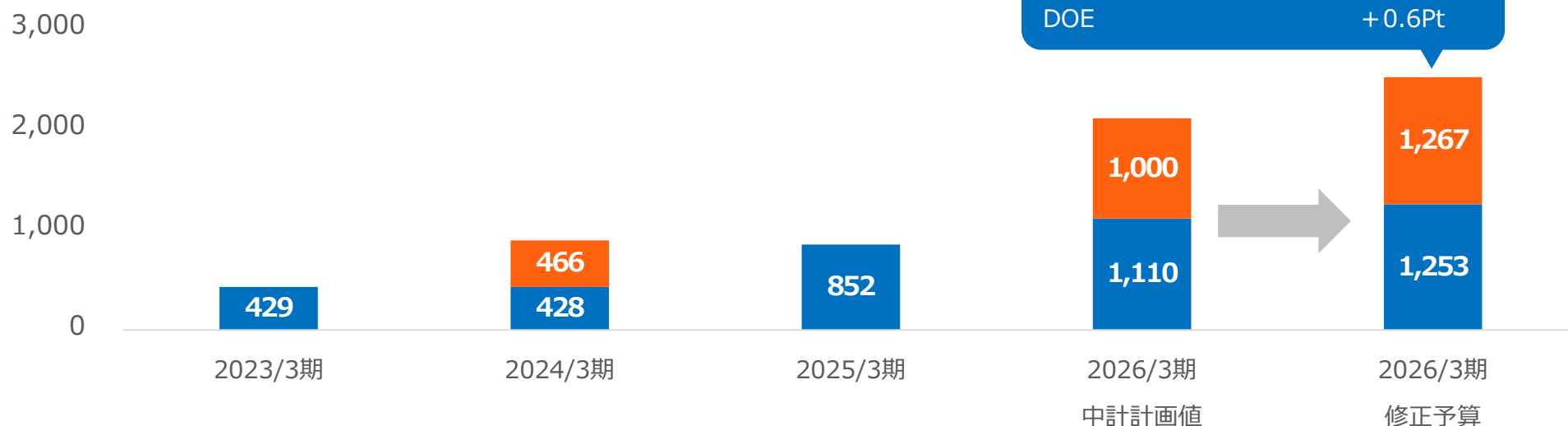
	2024/3期実績	2025/3期実績	2026/3期中計	2026/3期修正予算
自己資本比率	82.1%	84.9%	79.2%	80.4%
財務レバレッジ	1.22	1.18	1.26	1.24
WACC	7.5%	8.1%	7.9%	7.9%

株主還元（配当金、DOE、配当性向、総還元性向）

- ◆ 配当予想を上方修正
- ◆ 配当と自己株式の取得含めた資本政策の見直しにより高い株主還元を実現

(単位：百万円)

■ 配当金額 ■ 自己株式取得



	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期		
	実績	実績	実績	中計計画値	修正予算	計画比
1株当り 年間配当金	6.0円	6.0円	12.0円	16.0円	18.0円	+2.0円
総還元性向※	75.6%	121.0%	52.9%	113.5%	130.9%	+17.4Pt
DOE	2.1%	2.0%	3.9%	5.0%	5.6%	+0.6Pt

※ 総還元性向 = {(配当金総額 + 株主優待 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益} × 100

目指すべき定量目標（建機用フィルタ）

1

3軸によるシェア拡大
(顧客軸・技術軸・地域軸)

2

高付加価値製品

3

アフターマーケット市場の進化

Key Goal Indicator (KGI)

Key Performance Indicator (KPI)

Key Success Factor (KSF)

責任部署

※KPI算定の前提

Prv : 2025/3期 通期実績

Cur : 2026/3期 修正予算

ROIC
Prv:10.2%
Cur:10.3%

MAVY's
Prv:2.0%
Cur:2.4%

WACC
Prv: 8.1%
Cur: 7.9%

売上高営業利益率
Prv: 14.6%
Cur: 15.8%

売上総利益率
Prv:46.3 %
Cur:47.3%

販管費率
Prv:31.7 %
Cur:31.5%

運転資本回転率
Prv:3.0
Cur:3.1

投下資本回転
Prv: 0.9
Cur: 0.9

固定資産回転率
Prv:2.0
Cur:2.1

売上高伸長率
Prv:13.7%
Cur:5.9%

売上原価率
Prv:53.7%
Cur:52.7%

減価償却費率
Prv:3.6%
Cur:3.4%

研究開発費率
Prv:2.4%
Cur:2.8%

人件費率
Prv:15.5%
Cur:14.7%

売上債権回転率
Prv:4.4
Cur:4.4

棚卸資産回転率
Prv:5.4
Cur:6.2

仕入債務回転率
Prv:7.2
Cur:7.9

有形固定資産回転
Prv:2.3
Cur:2.4

無形固定資産回転率
Prv:81.9
Cur:92.2

新製品開発
純正率向上

購買力強化
歩留り改善

投資計画

テーマの絞り込み
優先順位

最適な人員構成

債権管理

適正在庫の設定

債務管理

設備計画
(R&D・生産)

投資計画

営業・開発

生産

経営企画
財務・管理

開発

人事・総務

営業
財務・経理

生産
営業

生産

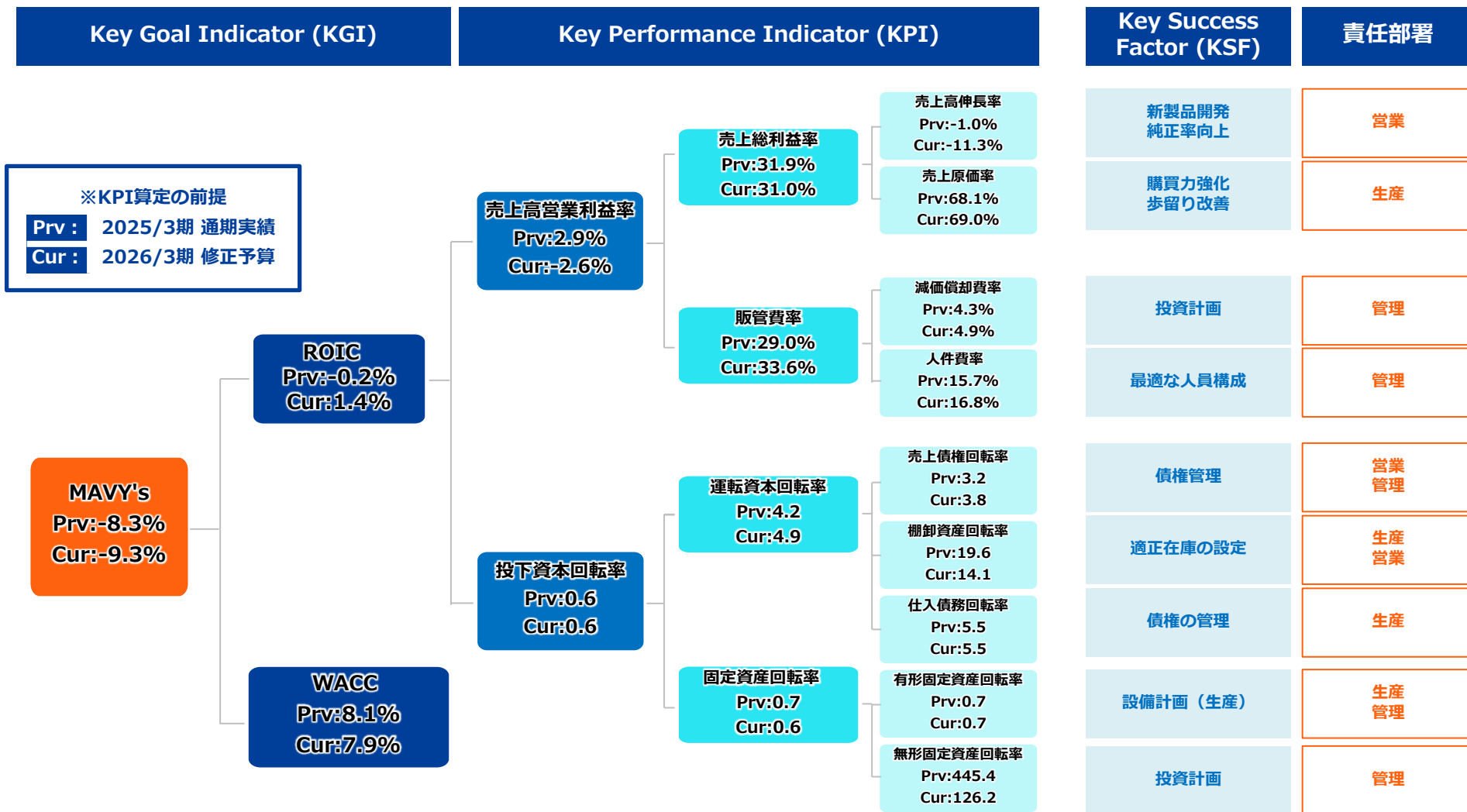
経営企画
総務・生産・開発

経営企画
財務・経理

目指すべき定量目標（エアフィルタ）

1 新商流の開拓（BtoB）

2 高付加価値製品（PFAS・PFOSフリー、CO2、消費電力削減）



※KPI算定の前提

Prv : 2025/3期 通期実績

Cur : 2026/3期 修正予算

- ◆ 企業価値を示すMAVY'sの改善は中期経営計画通り着実に進展
- ◆ エアフィルタビジネスの収益改善が経営課題

		2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 中計	2026/3期 修正予算
MAVY's		△2.6%	0.1%	0.2%	0.4%
ROIC		4.9%	8.2%	8.1%	8.4%
WACC		7.5%	8.1%	7.9%	7.9%
ROE		3.7%	7.8%	8.6%	8.7%
建機用フィルタ	MAVY's	△1.7%	2.0%	1.5%	2.4%
	ROIC	5.8%	10.2%	9.4%	10.3%
	WACC	7.5%	8.1%	7.9%	7.9%
エアフィルタ	MAVY's	△6.0%	△8.3%	△5.8%	△9.3%
	ROIC	1.5%	△0.2%	2.1%	△1.4%
	WACC	7.5%	8.1%	7.9%	7.9%

2026年3月期見通し（2025/4-2026/3）

資本政策進捗（総資産、自己資本比率、財務レバレッジ、WACC）

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 中計	2026/3期 修正予算
総資産 (百万円)	25,581	25,943	26,642	27,895	27,992
現預金	4,113	5,065	6,014	6,835	6,982
有利子負債	1,406	947	319	1,803	1,550
純資産	20,977	21,299	22,619	22,091	22,514
自己資本比率	82.0%	82.1%	84.9%	79.2%	80.4%
財務レバレッジ	1.22	1.22	1.18	1.26	1.24
WACC	7.5%	7.5%	8.1%	7.9%	7.9%

2026年3月期見通し（2025/4-2026/3）

株主還元（配当金、DOE、配当性向、総還元性向）

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 中計	2026/3期 修正予算
1株当り 年間配当金	6.0円	6.0円	12.0円	16.0円	18.0円
配当金額 (百万円)	429	428	852	1,110	1,253
自己株式取得 (百万円)	—	466	—	1,000	1,267
連結配当性向 ^{※1}	66.5%	54.5%	49.3%	58.1%	63.6%
配当利回り ^{※2}	1.8%	1.3%	2.1%	1.5%	1.6%
DOE ^{※3}	2.1%	2.0%	3.9%	5.0%	5.6%
総還元性向 ^{※4}	75.6%	121.0%	52.9%	113.5%	130.9%

※1 連結配当性向 = (配当金総額 ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益) × 100

※2 配当利回り = (1株あたり配当金 ÷ 期末日現在の株価) × 100

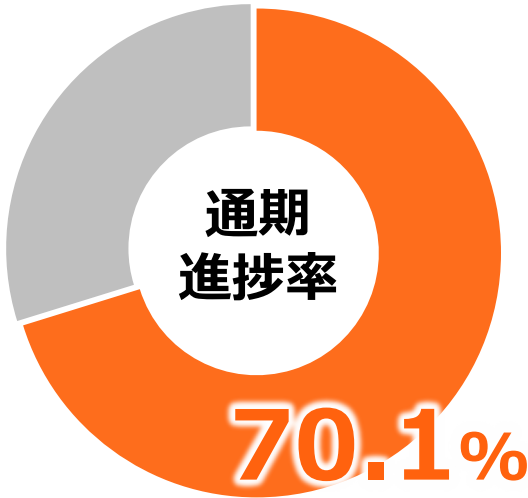
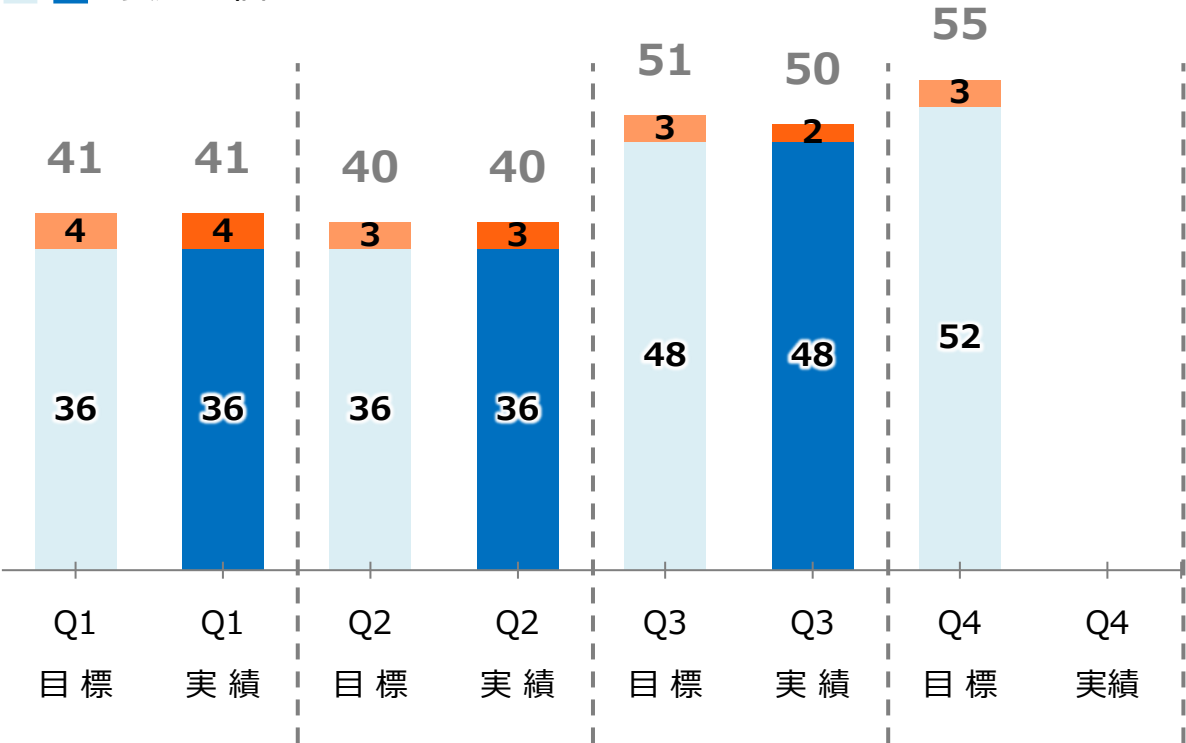
※3 DOE（株主資本配当率） = (年間配当総額 ÷ 株主資本) × 100

※4 総還元性向 = {(配当金総額 + 株主優待 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益} × 100

◆ PAC25の取組みは着実に進展

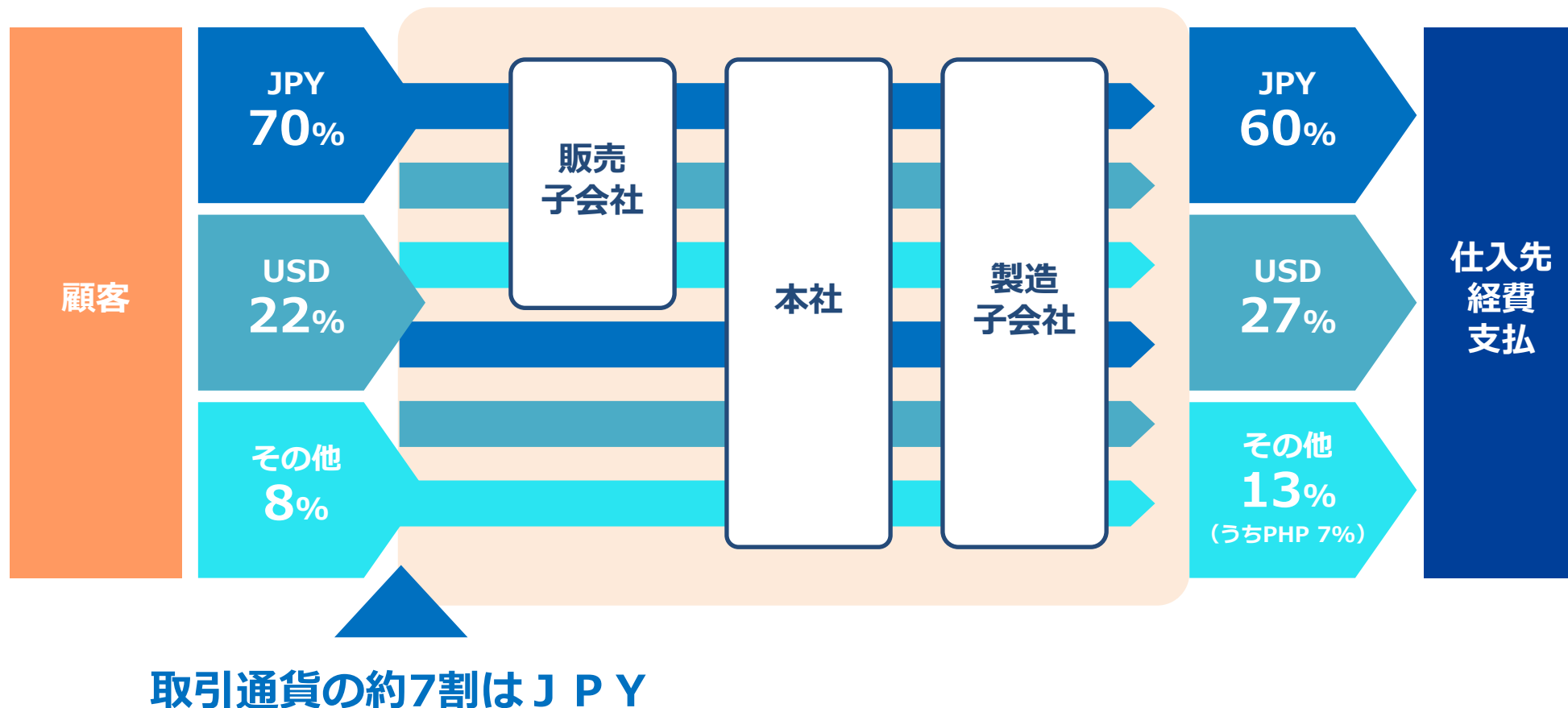
■ 進捗状況（前期比）
（単位：百万円）

■ 製造原価 ■ 販管費



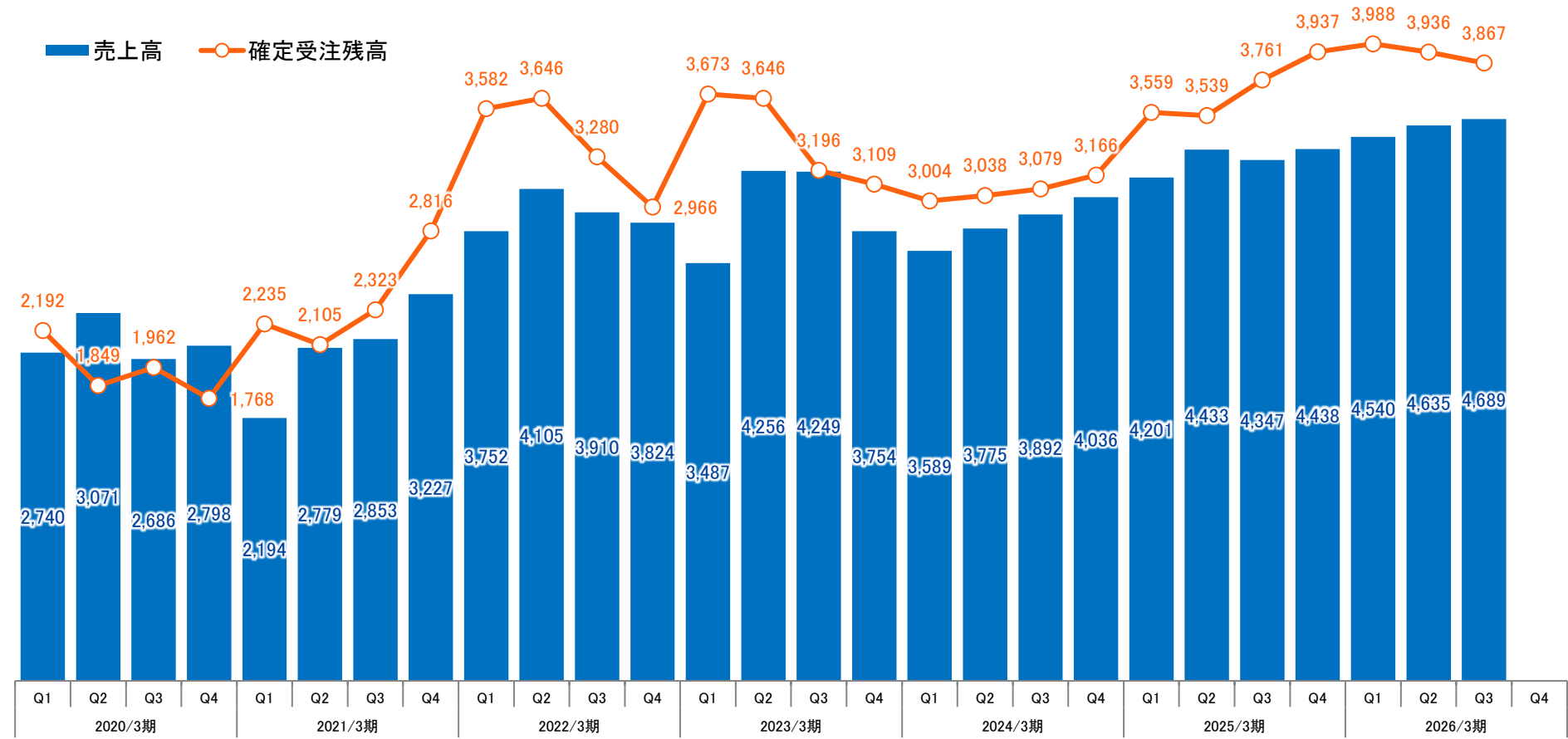
単位 百万円		通 期 標	通 期 績
PAC25	製造原価	174	121
	販管費	14	10
合 計		188	132

- ◆ 為替感応度は $\Delta 0.25$ %、営業利益への影響額は軽微



確定受注残高と売上高の推移 (建機用フィルタビジネス)

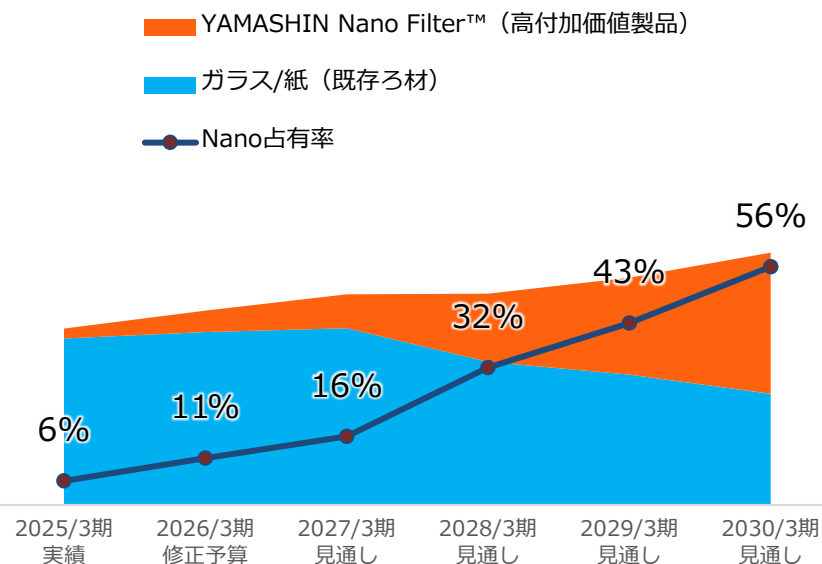
(単位：百万円)



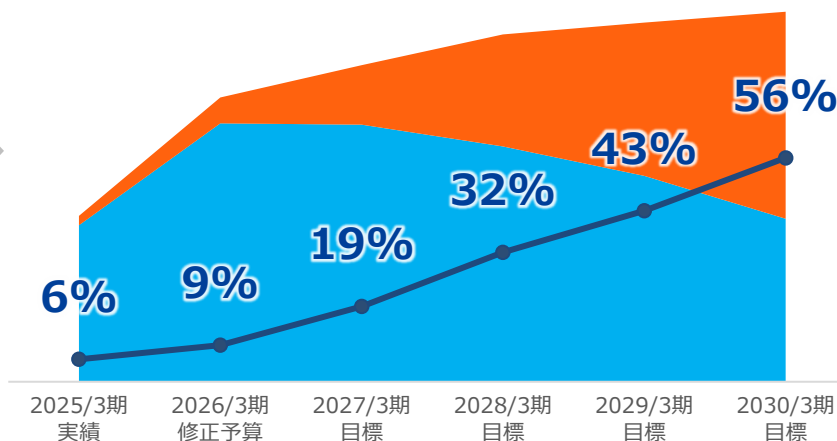
※ 売上高にはヘルスケア売上を含めておりません。

- ◆ ナノファイバー製品への置き換えは中期経営計画の予定通りに進展
- ◆ 2026/3期はフィルタ全体の販売量が増加した影響で占有率は一時的に減少見通し

ナノファイバー製品の占有率（中期経営計画）



ナノファイバー製品の占有率（今後の見通し）



※リターンフィルタおよびエレメントを対象



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 IR部IR課 まで

TEL

045-680-1680

E-mail

ir@yamashin-filter.co.jp